

社会課題解決手段としての側面に焦点を当てた宇宙開発広報の可能性に関する考察

木達 一仁 (社会構想大学院大学 コミュニケーションデザイン研究科 2022年9月 修了)

1. はじめに

- 社会課題の深刻化を背景として、現在さまざまな業種・業界において、企業は**事業活動と社会課題解決の同軸化**を推進している。
- しかし、国内の宇宙開発企業については、広報活動の主軸として広く生活者との接点になり得るWebサイトを見る限り、同様の動きに乏しい印象を受けた。
- 本研究では、宇宙開発の持つ社会課題解決手段としての側面を明らかにし、**国内の宇宙開発企業向け今後必要になる広報戦略を提言**する。

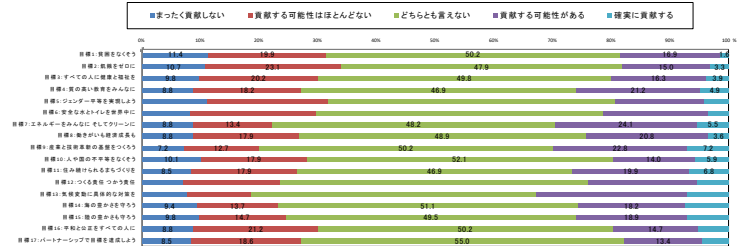
2. 宇宙開発と社会課題の関わり

- 宇宙開発の三つの意義(生活を豊かにする、地球環境を守る、私たち自身について学ぶ)は社会課題と関係しており、**宇宙開発の意義を社会課題解決に見出すことは可能**。
- リモートセンシングを中心に、さまざまな宇宙開発が**SDGs目標の達成に貢献し得る**。
- 宇宙開発企業には、自社の事業が社会課題をどう解決するか、またその進捗を広報する必要がある。

3. 宇宙開発と社会課題に対する生活者の意識

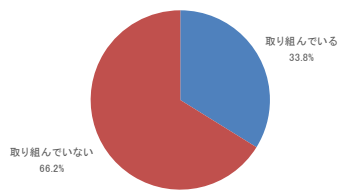
- 宇宙開発と社会課題に対する意識を調べるため、**生活者を対象としたアンケート調査**を実施した(サンプル数は307)。
- どのSDGs目標についても、回答者の半数近くが、**宇宙開発と社会課題を関連づけて捉えることができていない現状**を把握した。
- 回答者の6割近くが「社会」や「環境」の意味する範囲に**宇宙を含めて認識**していた。
- どれくらい先のニーズまで考慮して社会課題解決に取り組むべきかについては、回答者の過半数が50年後より先と答え、**長期思考の割合が多数派**を占めた。

SDGsの目標それぞれにつき、宇宙開発全般(有人・無人を問わない)が貢献できる度合いをどう考えていますか? (N=307)

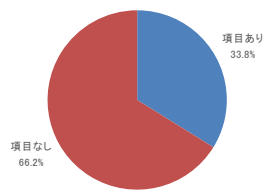


4. Webサイトに見る国内宇宙開発企業の広報

SDGsへの取り組みの有無(N=133)



主要ナビゲーションにおける社会課題関連項目の有無(N=133)

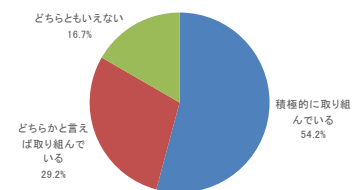


- 国内宇宙開発企業133社における**広報の現状**を、公式Webサイトの目視確認により調査した。
- Webサイト上で**SDGsへの取り組みを確認できた宇宙開発企業は約3割**に止まった。またその多くは宇宙開発が主力事業の企業ではなく、**宇宙開発とSDGs目標の関係を十分に広報できていない**とは言い難い。
- 数は少ないながらも、宇宙開発と社会課題の関係や、宇宙開発の持つ社会課題解決手段としての側面を積極的に広報している企業Webサイトの存在を確認できた。

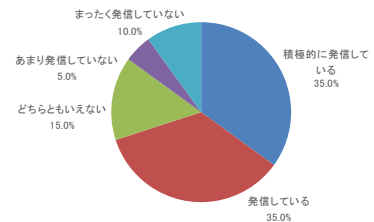
5. 企業視点における社会課題解決とその広報の現状

- 国内宇宙開発企業125社に対しアンケートを依頼、24社から回答を得た。またその中から3社に対しインタビューを実施した。
- 約8割が宇宙開発を通じた社会課題解決に既に取り組んでおり、またそのうちの約7割が取り組みを**広報している認識**と回答、**Webサイトの調査結果との乖離が認められた**。
- インタビューを通じ、宇宙開発企業でもESG投資が盛り上がりつつあることが確認できた。また、複数社で連携して広報を行うアイデアについて賛同いただいた。

宇宙開発を通じた社会課題解決についての認識(N=24)



広報活動への積極性(N=20)



6. 社会課題解決手段としての側面に焦点を当てた宇宙開発広報の可能性

- 宇宙開発企業に求められる広報戦略として、以下の6項目を提言する。
 - 自社が取り組む**宇宙開発の社会課題解決手段としての側面をわかりやすく広報**すること
 - 他社と積極的に連携**し社会課題解決に至る道筋を広報すること
 - 立場ごとに**認識の異なる時間軸や空間認識に対応**すること
 - 統合報告書**を作成すること
 - 国際的な枠組みでの**ルールづくりや法整備**の場に積極的に参加し動向を広報すること
 - これらの実現に向け**広報体制を充実**させること
- 宇宙開発企業各社が上記の提言を可能な範囲で広報活動さらには企業経営に取り入れ、**最終的には宇宙開発を通じた社会課題解決が徐々に加速していく、その可能性**を筆者は強く期待している。
- 本研究の社会実装の一環として、筆者自ら宇宙開発と社会課題の関わりについて発信・広報すべく、「宇宙開発とサステナビリティ」と名づけたWebサイト(<https://space4sustainability.jp>)を公開した。同サイトにて**研究成果報告書の全文をPDFで公開**している。本ポスターに掲載のQRコードから、ぜひアクセスしていただきたい。



研究成果報告書にアクセスするためのQRコード